

新宿駅西口駅前広場の工事情報について

カリヨンデッキ関連工事（完了）

西口駅前広場関連工事

新宿駅西口地区開発計画

西口駐車場車路関連工事

仮設構台設置工事（完了）

東西デッキ関連工事

西口広場躯体関連工事



令和7年6月2日撮影

カリヨンデッキ（新宿駅西口広場歩行者デッキ）撤去工事(完了)

	R5年度 (2023年度)	R6年度 (2024年度)
工程		

土地交換による敷地整序のため、カリヨンデッキを一部撤去しました。将来的にはデッキは復旧し、既存のデッキと新宿駅西口地区開発計画の建物が繋がる計画となっています。
ちなみに、カリヨンデッキの愛称の由来は、小田急ハレクの壁面に「カリヨン時計」と呼ばれる時計が以前かかっていたためとされています。



新宿駅西口地上（西側）から
カリヨンデッキ側を臨む
(撮影日：R4(2022)年4月)



新宿駅西口地上（南側）から
旧カリヨンデッキ側を臨む
(撮影日：R6(2024)年6月)

新宿駅西口駅前広場関連工事

	R4年度 (2023年度)	R5年度 (2024年度)	R6年度 (2024年度)	R7年度 (2025年度)	※ R17年度 (2035年度)
工程					

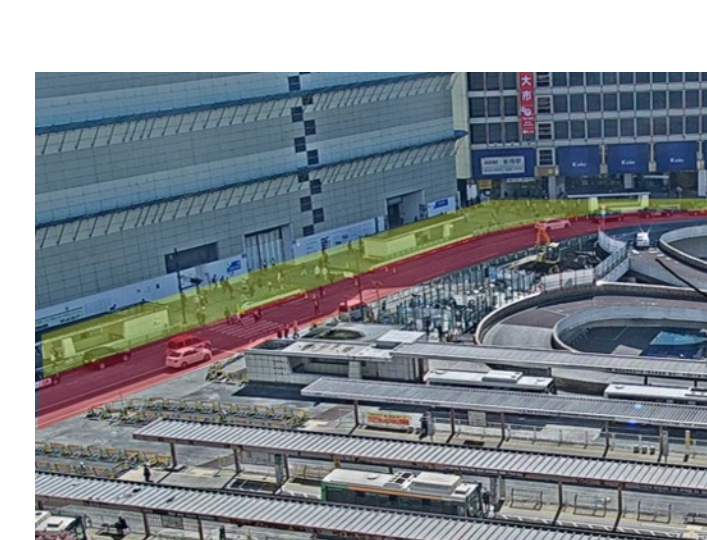
西口広場の段階的な整備のため、これまで車道の一車線化およびタクシー待機場の整備工事、階段の閉塞工事、舗装工事や植栽帯の撤去工事を実施しました。
今年度は広場内の整備を進め、順次バスやタクシー乗り場等を移設していきます。
今後も順次道路工事を実施し、西口広場を段階的に整備予定です。



旧小田急百貨店から
小田急ハレク前を臨む
(撮影日：R3(2021)年4月)



新宿エルタワーから
西口広場北側を臨む
(撮影日：R7(2025)年6月)



西口駅前都道の一車線化前
(撮影日：R5(2023)年10月)



一車線化後
(撮影日：R5(2023)年11月)

凡例
黄色：歩道
赤色：車道

仮設構台設置工事（完了）

	R5年度 (2023年度)	R6年度 (2024年度)
工程		

大規模ターミナル駅である新宿駅の利用や西口ロータリーの機能を継続しながら工事を進めていくため、4号街路から地上2階レベルへ工事用車両が直接アクセスできる仮設構台を整備しました。
今後は、新宿駅西口地区開発計画や東西デッキ工事の施工に利用されます。
将来的には本工事の完了にあわせ、仮設構台は撤去する予定です。



新宿駅西口地上（南西側）から
仮設構台を臨む
(撮影日：R6(2024)年9月)

新宿駅西口地区開発計画

	R5年度 (2023年度)	R6年度 (2024年度)	R7年度 (2025年度)	R8年度 (2026年度)	R9年度 (2027年度)
工程					

旧小田急百貨店跡地にて、小田急電鉄、東京メトロ、東急不動産の3者が事業主体となる「新宿駅西口地区開発計画」が進んでいます。2029年度には地下5階、地上48階建て、最高高さ260mの建物が完成する予定です。また、本計画は新宿グランドターミナルの実現に向けた基盤整備等を整備方針としており、駅とまちの連携を強化する重層的な歩行者ネットワークもあわせて整備します。



解体前の旧小田急百貨店
(撮影日：R4(2022)年5月)



計画建物（イメージ）
出典：小田急電鉄HP

西口駐車場車路関連工事

	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)	R6年度 (2024年度)	R7年度 (2025年度)
工程					

西口広場を歩行者中心の空間へ再編するとともに、周辺の車両交通の円滑化を図っていくため、地下駐車場への車両の出入口の整備を実施しています。

令和7年1月15日にスロープ状の車路（メガネ車路）の運用を廃止し、同日に駐車場車路の供用を開始いたしました。
現在、スロープ状の車路（メガネ車路）の撤去工事を進めていると同時に、駐車場車路の外周部の歩道整備等を進めております。



新宿駅西口地上（南西側）から
スノールビル跡地（施工箇所）を臨む
(撮影日：R6(2024)年9月)



左写真と同じ場所
(撮影日：R7(2025)年1月)



新宿駅西口地上（南西側）から
スロープ車路（メガネ車路）を臨む
(撮影日：R5(2023)年4月)



新宿駅西口広場（北側）から
スロープ車路（メガネ車路）を臨む
(撮影日：R7(2025)年6月)

東西デッキ関連工事

	R7年度 (2025年度)	R8年度 (2026年度)	R9年度 (2027年度)	～ ※ R17年度 (2035年度)
工程				

※一部完成予定

線路上空に東西のまちをつなぐデッキを整備し、地下の東西自由通路とともに、東西骨格軸を形成していきます。
東西デッキの整備により、地下空間に集中する歩行者が分散化を実現します。



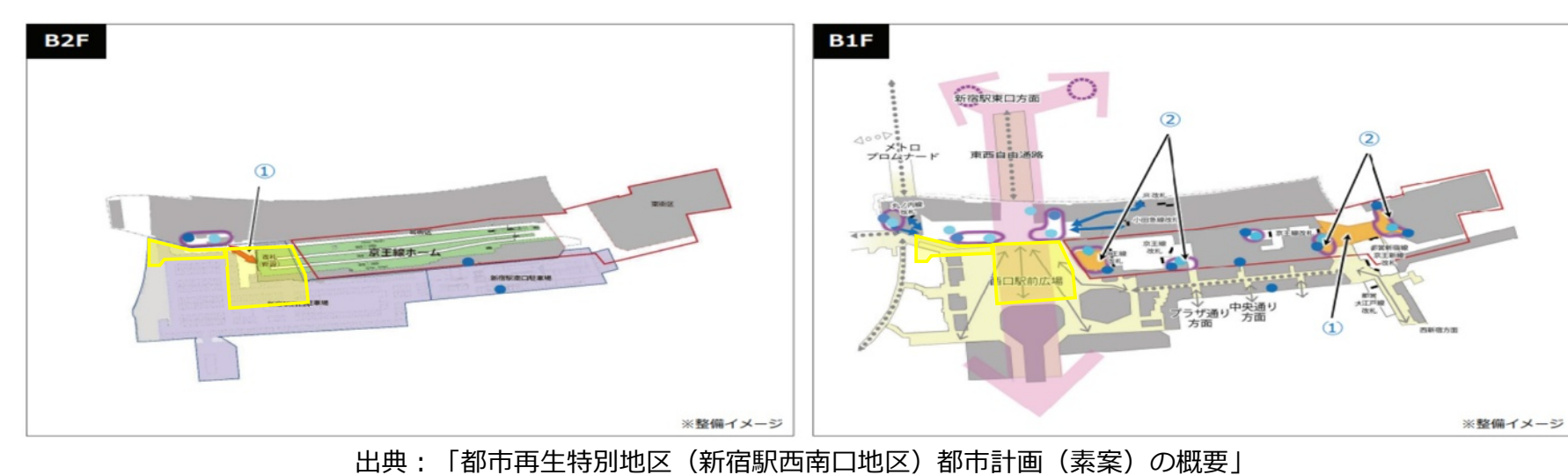
東西デッキ
出典：新宿グランドターミナルへの再編
新宿駅西口地区開発計画（事業計画を決定）
人中心のまち「新宿」の形貌に向けて
(R3(2021)年7月、東京都)



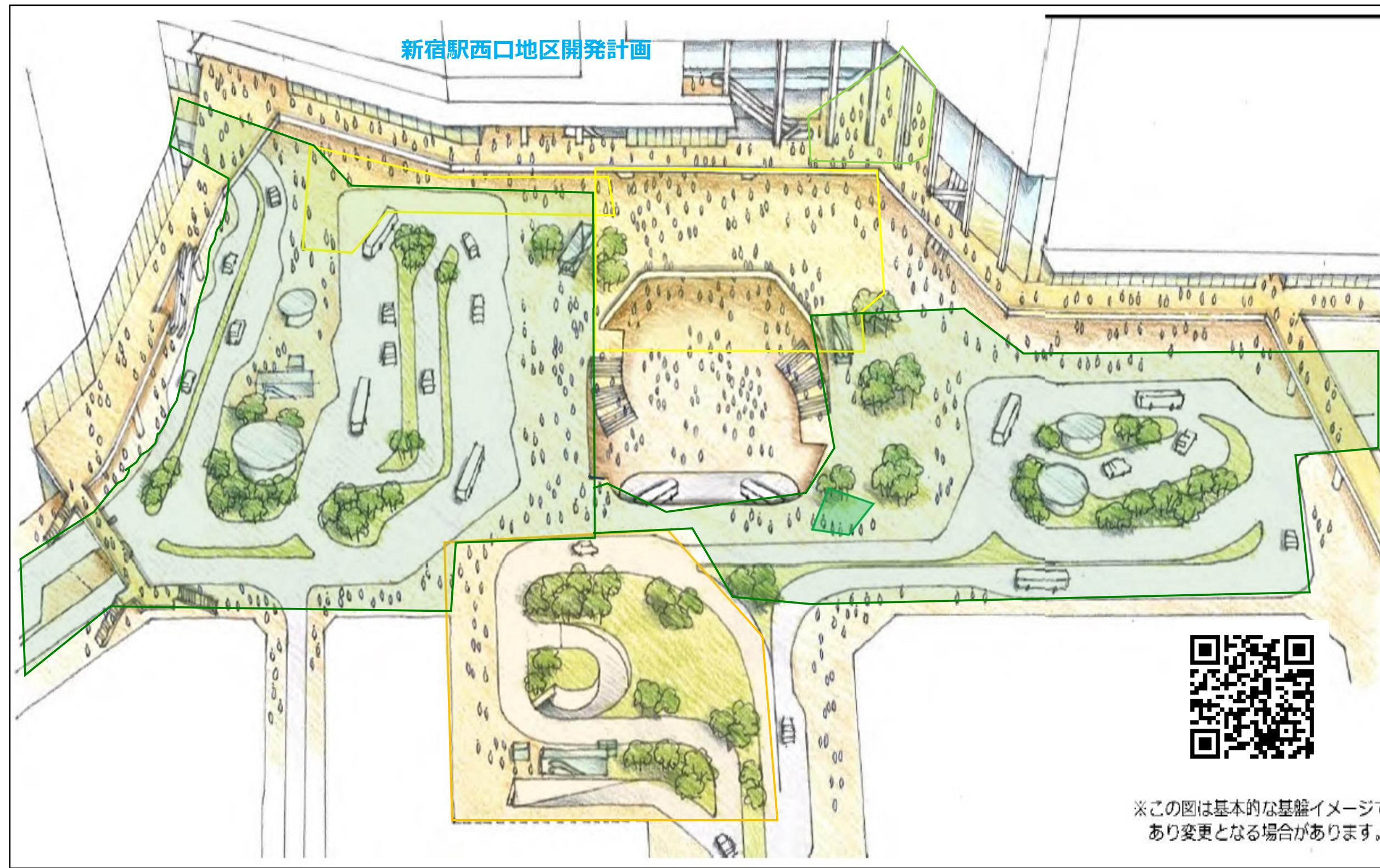
西口広場躯体関連工事

	R5年度 (2023年度)	R6年度 (2024年度)	R7年度 (2025年度)	R8年度 (2026年度)	R9年度 (2027年度)
工程					

西口広場の段階的な整備にあたり、躯体を地下から地上まで再構築する工事を進めています。今後、本施工箇所において、京王電鉄が事業主体となる京王線の延伸工事や小田急電鉄等による新宿駅西口地区開発計画等が行われる予定です。地上広場では、建物と一体となった歩行者空間を創出し、地下に光が入るポイド（大穴）を広場の中心に整備します。



出典：「都市再生特別地区（新宿駅西口地区）都市計画（素案）の概要」
(R4(2022)年4月、京王電鉄、東日本旅客鉄道) を一部加工



将来イメージ
出典：「新宿駅直近地区に係る都市計画案」（R1(2019)年9月、東京都・新宿区）を一部加工